

事業所名		児童発達支援事業所ひだまり				支援プログラム		作成日		2025 年		1 月		27 日	
法人（事業所）理念		発達の過程の中で気になる事がある乳幼児に対して、早期から適切な療育を行い、心身の発達を促進することを目指しています。これにより、将来的に社会的に自立した生活を送るための基盤を築きます。													
支援方針		子ども一人ひとりの個性や特性に応じた対応をしながら、子どもがやる気を持って自分から「してみよう」「やったぁ」「できた」という自信や自己肯定感が持てるように心がけ、支援する。 声かけ：近づいて、穏やかに、静かに声をかける。「～したらいいよ」「～したらどう？」としてほしい行動、正しい行動、望ましい行動を伝え、好ましい行動が身につくように声を掛ける。 環境：スケジュールを掲示、カードを使つての移動を伝えるなど視覚的に今してほしい事を伝えて自らが気付けるように支援する。コーナーごとに部屋を分け、構造化し過ごしやすい環境を整え支援する。													
営業時間		9 時				0 分から		16 時		0 分まで		送迎実施の有無		あり なし	
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	基本的生活習慣の確立を目的に一人ひとりに合わせた生活リズムを整える。 生活習慣の自立（衣服の着脱、食事、トイレトレーニング等）を促していく。													
	運動・感覚	身体を動かす事を楽しみながらいろいろな動きへ繋げる。 個別課題の中で、一人ひとりの個性、特性に合わせた課題を取り入れる。													
	認知・行動	製作活動等を通し、物の機能や属性、形、色等の概念の形成を図り、認知や行動の手掛かりとなるように活動の工夫をする。													
	言語 コミュニケーション	言語療法指導でのアドバイスを元に言語の発達を促す。 自分の思いを言葉やジェスチャーを使い、伝えていけるように、子どもの気持ちに寄り添い一人ひとりに合った思いの伝え方を伝える。													
	人間関係 社会性	先生との関わりを中心に友だちとの関わりを広げる。 先生も一緒に遊びに参加する中で、友だちとの関わり方ややりとりの方法を知る。													
家族支援		・ 年 2 回、個人面談を実施し子どもを共通理解する。						移行支援		・ 各並行通園先、相談支援事業所等各関係機関との連携を密にし情報の共有を図る。					
地域支援・地域連携		・ 担当保健師や相談支援事業所等各関係機関との連携を密にし、顔の見える関係を築く。						職員の質の向上		・ 研修会や勉強会への参加 ・ 1 人ひとりの個性、特性を共通理解し支援の統一を図る。					
主な行事等		・ 入園式・卒園式 ・ 避難訓練（通報訓練）・個人面談・言語療法指導													